

(2) 同和地区に対するイメージを持った理由

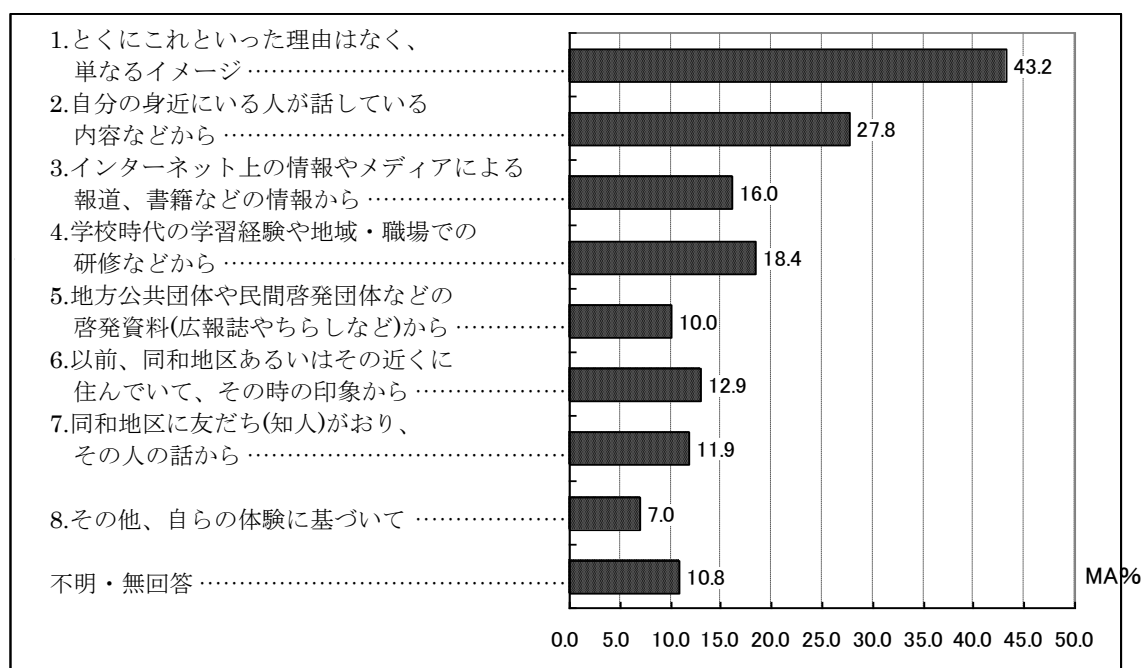
問 18-1 あなたが問 18 の回答のようなイメージを持ったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

【表 5-1-2-5 同和地区に対するイメージを持った理由】

(上段:人、下段:MA%)

	1. とくにこれといた理由はなく、単なるイメージ	2. 自分の身近にいる人が話している内容などから	3. インターネット上の情報やメディアによる報道、書籍などの情報から	4. 学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから	5. 地方公共団体や民間啓発団体などの啓発資料(広報誌やちらしなど)から	6. 以前、同和地区あるいはその近くに住んでいて、その時の印象から	7. 同和地区に友だち(知人)がおり、その人の話から	8. その他、自らの体験に基づいて	無不明回答・	該当者数
市全体	291 43.2	187 27.8	108 16.0	124 18.4	67 10.0	87 12.9	80 11.9	47 7.0	73 10.8	673 100.0

【図 5-1-2-2 同和地区に対するイメージを持った理由】



同和地区に対して問 18 の回答のようなイメージを持った理由について尋ねたところ、「1. とくにこれといた理由はなく、単なるイメージ」と答えた人の割合が 43.2%と最も高く、次いで「2. 自分の身近にいる人が話している内容などから」が 27.8%、「4. 学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから」が 18.4%となっている。

性別でみると、男性では「1. とくにこれといた理由はなく、単なるイメージ」が 41.0%と最も高く、次いで「2. 自分の身近にいる人が話している内容などから」が 26.1%、「3. インターネット

上の情報やメディアによる報道、書籍などの情報から」が 19.4%となっている。

女性では「1.とくにこれといった理由はなく、単なるイメージ」が 46.1%と最も高く、次いで「2.自分の身近にいる人が話している内容などから」が 29.2%、「4.学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから」が 18.6%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての年齢層で「1.とくにこれといった理由はなく、単なるイメージ」であり、20歳代が 64.1%、30歳代が 48.8%、40歳代が 41.4%、50歳代が 35.1%、60歳代が 42.3%、70歳以上が 38.9%となっている。

【表5-1-2-6】

【表5-1-2-6 性別・年齢別 同和地区に対するイメージを持った理由】

(上段:人、下段:%)

		1. 理由とくにこれと単なるイメージ	2. 自分の身近にいる人から	3. インターネット上の報道、書籍やメディアの情報から	4. 学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから	5. 地方公共団体や民間団体などの啓発資料などから	6. その近頃の印象から	7. 以前、同和地区の人から	8. その他、自らの体験に基づく	無回答・不明	該当者数
市全体		291 43.2	187 27.8	108 16.0	124 18.4	67 10.0	87 12.9	80 11.9	47 7.0	73 10.8	673 100.0
性別	男性	116 41.0	74 26.1	55 19.4	53 18.7	32 11.3	40 14.1	38 13.4	30 10.6	28 9.9	283 100.0
	女性	166 46.1	105 29.2	50 13.9	67 18.6	31 8.6	42 11.7	39 10.8	17 4.7	38 10.6	360 100.0
	不明・無回答	9 30.0	8 26.7	3 10.0	4 13.3	4 13.3	5 16.7	3 10.0	0 0.0	7 23.3	30 100.0
年齢別	20歳代	41 64.1	12 18.8	10 15.6	15 23.4	1 1.6	6 9.4	5 7.8	5 7.8	1 1.6	64 100.0
	30歳代	62 48.8	36 28.3	25 19.7	35 27.6	6 4.7	13 10.2	15 11.8	9 7.1	6 4.7	127 100.0
	40歳代	41 41.4	33 33.3	19 19.2	26 26.3	3 3.0	16 16.2	15 15.2	7 7.1	4 4.0	99 100.0
	50歳代	34 35.1	31 32.0	15 15.5	13 13.4	10 10.3	11 11.3	21 21.6	6 6.2	12 12.4	97 100.0
	60歳代	55 42.3	36 27.7	24 18.5	17 13.1	22 16.9	20 15.4	12 9.2	10 7.7	14 10.8	130 100.0
	70歳以上	49 38.9	31 24.6	12 9.5	14 11.1	21 16.7	16 12.7	9 7.1	10 7.9	29 23.0	126 100.0
	不明・無回答	9 30.0	8 26.7	3 10.0	4 13.3	4 13.3	5 16.7	3 10.0	0 0.0	7 23.3	30 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業・学生・無職」では「1.とくにこれといった理由はなく、単なるイメージ」であり、数値は各々 34.1%、43.0%、47.9%、47.5%となっており、「公務員、教員」では「4.学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから」が 53.3%となっている。【表5-1-2-7】

【表5-1-2-7 職業別 同和地区に対するイメージを持った理由】

(上段:人、下段:MA%)

	1. とくにこれといった理由はなく、単なるイメージ	2. 自分の身近にいる人から話している内容などから	3. インターネット上の情報やメディアによる報道、書籍などの情報から	4. 学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから	5. 地方公共団体や民間啓発団体などの啓発資料(広報誌やちらしなど)から	6. 以前、同和地区に住んでいた、その時の印象から	7. おり、その人の話から(知人)が	8. その他、自らの体験に基づいて	無不明回答・	該当者数
市全体	291 43.2	187 27.8	108 16.0	124 18.4	67 10.0	87 12.9	80 11.9	47 7.0	73 10.8	673 100.0
自営業	30 34.1	29 33.0	10 11.4	13 14.8	8 9.1	15 17.0	15 17.0	2 2.3	11 12.5	88 100.0
公務員、教員	5 33.3	2 13.3	1 6.7	8 53.3	1 6.7	1 6.7	2 13.3	1 6.7	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	80 43.0	56 30.1	37 19.9	40 21.5	14 7.5	21 11.3	21 11.3	16 8.6	12 6.5	186 100.0
非正規雇用	45 47.9	28 29.8	16 17.0	20 21.3	6 6.4	10 10.6	12 12.8	5 5.3	8 8.5	94 100.0
家事専業・学生・無職	122 47.5	64 24.9	41 16.0	38 14.8	34 13.2	36 14.0	27 10.5	22 8.6	32 12.5	257 100.0
不明・無回答	9 27.3	8 24.2	3 9.1	5 15.2	4 12.1	4 12.1	3 9.1	1 3.0	10 30.3	33 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「1.とくにこれといった理由はなく、単なるイメージ」であり、「中学卒」が30.1%、「高校卒」が47.9%、「短大卒」が41.7%、「大学卒」が48.2%となっている。【表5-1-2-8】

【表5-1-2-8 学歴別 同和地区に対するイメージを持った理由】

(上段:人、下段:MA%)

	1. とくにこれといった理由はなく、単なるイメージ	2. 自分の身近にいる人から話している内容などから	3. インターネット上の情報やメディアによる報道、書籍などの情報から	4. 学校時代の学習経験や地域・職場での研修などから	5. 地方公共団体や民間啓発団体などの啓発資料(広報誌やちらしなど)から	6. 以前、同和地区に住んでいた、その時の印象から	7. おり、その人の話から(知人)が	8. その他、自らの体験に基づいて	無不明回答・	該当者数
市全体	291 43.2	187 27.8	108 16.0	124 18.4	67 10.0	87 12.9	80 11.9	47 7.0	73 10.8	673 100.0
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	28 30.1	26 28.0	7 7.5	8 8.6	9 9.7	14 15.1	9 9.7	11 11.8	23 24.7	93 100.0
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	123 47.9	78 30.4	45 17.5	42 16.3	30 11.7	40 15.6	37 14.4	11 4.3	20 7.8	257 100.0
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	60 41.7	42 29.2	23 16.0	30 20.8	14 9.7	19 13.2	20 13.9	11 7.6	14 9.7	144 100.0
4. 大学、大学院	68 48.2	32 22.7	30 21.3	40 28.4	10 7.1	10 7.1	10 7.1	14 9.9	4 2.8	141 100.0
5. その他	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	3 100.0
不明・無回答	11 31.4	8 22.9	3 8.6	4 11.4	4 11.4	4 11.4	4 11.4	4 11.4	0 31.4	35 100.0

5-2 同和問題を知ったきっかけと関わり

5-2-1. 同和問題を知ったきっかけ

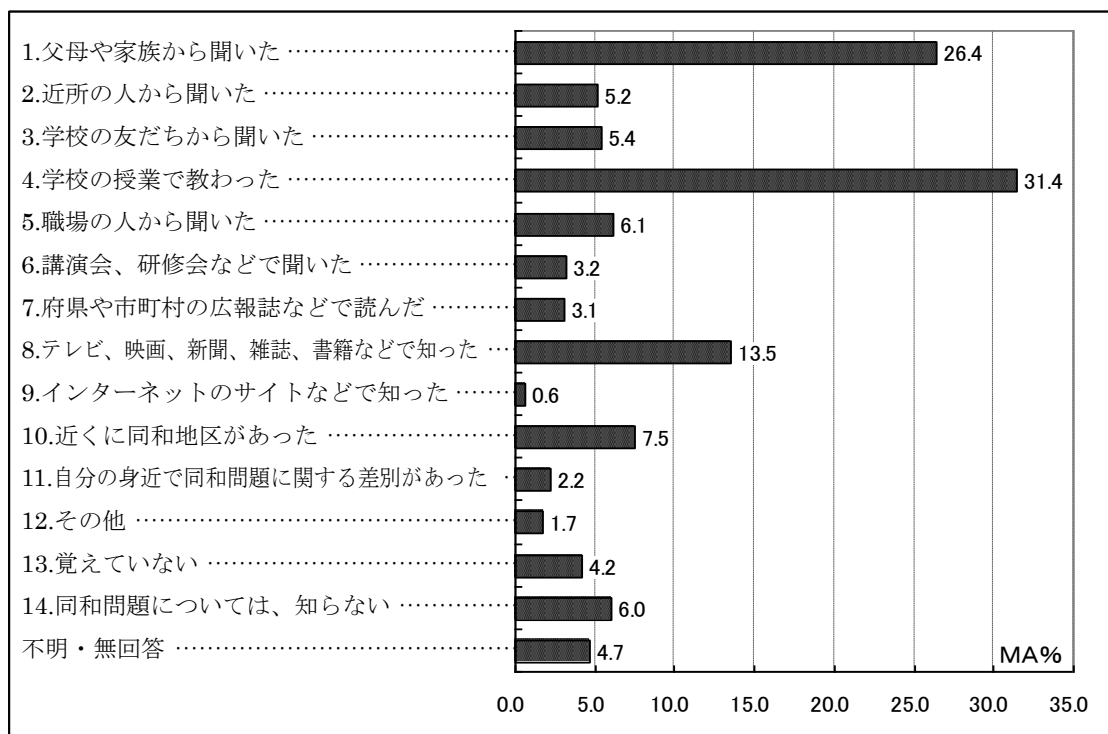
問 15 あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、ということがきっかけですか。(〇は1つ)

【表 5-2-1-1 同和問題や部落問題を知ったきっかけ】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 父母や家族から聞いた	2. 近所の人から聞いた	3. 学校の友だちから聞いた	4. 学校の授業で教わった	5. 職場の人から聞いた	6. 講演会、研修会などで聞いた	7. 府県や市町村の広報誌などで読んだ	8. テレビ、雑誌、書籍などで知った	9. インターネットのサイトなどで知った	10. 近くに同和地区があった	11. 自分の身近で同和問題に関する差別があった	12. その他	13. 覚えていない	14. 同和問題については、知らない	無回答・不明	回答者数
市全体	189	37	39	225	44	23	22	97	4	54	16	12	30	43	34	716
	26.4	5.2	5.4	31.4	6.1	3.2	3.1	13.5	0.6	7.5	2.2	1.7	4.2	6.0	4.7	100.0

【図 5-2-1 同和問題や部落問題を知ったきっかけ】



※単一回答の設問であるが、複数回答が多数あったため、すべて有効とした。

同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったきっかけについて尋ねたところ、「4.学校の授業で教わった」と答えた人の割合が31.4%と最も高く、次いで「1.父母や家族から聞いた」が26.4%、「8.テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った」が13.5%となっている。

性別でみると、男性では「4.学校の授業で教わった」が34.6%と最も高く、次いで「1.父母や家族から聞いた」が23.6%、「8.テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った」が14.0%となっている。

女性では「4.学校の授業で教わった」が30.9%と最も高く、次いで「1.父母や家族から聞いた」が28.6%、「8.テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った」が13.2%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では「4.学校の授業で教わった」であり、数値は各々53.5%、51.1%、54.8%、36.3%となっており、60歳代、70歳以上では「1.父母や家族から聞いた」であり、各々36.6%、27.5%となっている。

【表5-2-1-2】

【表5-2-1-2 性別・年齢別 同和問題や部落問題を知ったきっかけ】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 父母や家族から聞いた	2. 近所の人から聞いた	3. 学校の友だちから聞いた	4. 学校の授業で教わった	5. 職場の人から聞いた	6. 講演会、研修会などで聞いた	7. 府県や市町村の広報誌などで読んだ	8. テレビ、雑誌、映画、新聞、書籍などで知った	9. インターネットのサイトなどで知った	10. 近くに同和地区があつた	11. 自分の身近で同和問題に関する差別があつた	12. その他	13. 覚えていない	14. 同和問題については知らない	不明・無回答	回答者数	
																	189
市全体	26.4	5.2	5.4	31.4	6.1	3.2	3.1	13.5	0.6	7.5	2.2	1.7	4.2	6.0	4.7	100.0	
性別	男性	71	14	16	104	21	12	7	42	4	23	4	5	11	18	13	301
		23.6	4.7	5.3	34.6	7.0	4.0	2.3	14.0	1.3	7.6	1.3	1.7	3.7	6.0	4.3	100.0
	女性	110	20	20	119	20	10	12	51	0	30	11	6	19	25	17	385
	28.6	5.2	5.2	30.9	5.2	2.6	3.1	13.2	0.0	7.8	2.9	1.6	4.9	6.5	4.4	100.0	
	不明・無回答	8	3	3	2	3	1	3	4	0	1	1	0	0	4	30	
		26.7	10.0	10.0	6.7	10.0	3.3	10.0	13.3	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	13.3	100.0	
年齢別	20歳代	14	1	2	38	3	1	0	6	0	4	1	0	3	7	2	71
		19.7	1.4	2.8	53.5	4.2	1.4	0.0	8.5	0.0	5.6	1.4	0.0	4.2	9.9	2.8	100.0
	30歳代	30	0	3	70	7	4	1	10	2	7	2	2	7	10	4	137
		21.9	0.0	2.2	51.1	5.1	2.9	0.7	7.3	1.5	5.1	1.5	1.5	5.1	7.3	2.9	100.0
	40歳代	22	1	5	57	5	1	3	6	1	8	2	1	1	5	2	104
		21.2	1.0	4.8	54.8	4.8	1.0	2.9	5.8	1.0	7.7	1.9	1.0	1.0	4.8	1.9	100.0
	50歳代	28	4	6	37	8	3	2	16	1	5	5	2	5	5	2	102
	27.5	3.9	5.9	36.3	7.8	2.9	2.0	15.7	1.0	4.9	4.9	2.0	4.9	4.9	2.0	100.0	
60歳代	49	13	9	11	10	4	3	34	0	15	3	3	6	4	8	134	
	36.6	9.7	6.7	8.2	7.5	3.0	2.2	25.4	0.0	11.2	2.2	2.2	4.5	3.0	6.0	100.0	
70歳以上	38	15	11	10	8	9	10	21	0	14	2	3	8	12	12	138	
	27.5	10.9	8.0	7.2	5.8	6.5	7.2	15.2	0.0	10.1	1.4	2.2	5.8	8.7	8.7	100.0	
不明・無回答	8	3	3	2	3	1	3	4	0	1	1	1	0	0	4	30	
	26.7	10.0	10.0	6.7	10.0	3.3	10.0	13.3	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	13.3	100.0	

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「公務員、教員」「民間正規雇用」「非正規雇用」では「4.学校の授業で教わった」であり、数値は各々35.6%、46.7%、46.0%、32.3%となっており、「家事専業・学生・無職」では「1.父母や家族から聞いた」で27.6%となっている。

【表5-2-1-3】

【表5-2-1-3 職業別 同和問題や部落問題を知ったきっかけ】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 父母や家族から聞いた	2. 近所の人から聞いた	3. 学校の友だちから聞いた	4. 学校の授業で教わった	5. 職場の人から聞いた	6. 講演会、研究会などで聞いた	7. 府県や市町村の広報誌などで読んだ	8. テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った	9. インターネットのサイトなどで知った	10. 近くに同和地区があつた	11. 自分の身近で同和問題に関する差別があつた	12. その他	13. 覚えていない	14. 同和問題については知らない	不明・無回答	回答者数
市全体	189 26.4	37 5.2	39 5.4	225 31.4	44 6.1	23 3.2	22 3.1	97 13.5	4 0.6	54 7.5	16 2.2	12 1.7	30 4.2	43 6.0	34 4.7	716 100.0
自営業	28 31.1	9 10.0	8 8.9	32 35.6	5 5.6	0 0.0	2 2.2	8 8.9	0 0.0	5 5.6	2 2.2	0 0.0	2 2.2	2 2.2	3 3.3	90 100.0
公務員、教員	3 20.0	0 0.0	2 13.3	7 46.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	43 21.7	2 1.0	6 3.0	91 46.0	13 6.6	5 2.5	3 1.5	14 7.1	3 1.5	11 5.6	3 1.5	1 0.5	11 5.6	12 6.1	9 4.5	198 100.0
非正規雇用	30 30.3	5 5.1	4 4.0	32 32.3	7 7.1	7 7.1	1 1.0	16 16.2	1 1.0	10 10.1	5 5.1	3 3.0	3 3.0	5 5.1	4 4.0	99 100.0
家事専業・学生・無職	77 27.6	18 6.5	16 5.7	59 21.1	15 5.4	10 3.6	14 5.0	53 19.0	0 0.0	25 9.0	5 1.8	7 2.5	14 5.0	22 7.9	12 4.3	279 100.0
不明・無回答	8 22.9	3 8.6	3 8.6	4 11.4	3 8.6	1 2.9	2 5.7	4 11.4	0 0.0	2 5.7	1 2.9	1 2.9	0 0.0	2 5.7	6 17.1	35 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「8.テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った」で22.2%、「高校卒」では「1.父母や家族から聞いた」で29.7%、「短大卒」「大学卒」では「4.学校の授業で教わった」であり、数値は各々46.3%、49.0%となっている。

【表5-2-1-4】

【表5-2-1-4 学歴別 同和問題や部落問題を知ったきっかけ】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 父母や家族から聞いた	2. 近所の人から聞いた	3. 学校の友だちから聞いた	4. 学校の授業で教わった	5. 職場の人から聞いた	6. 講演会、研究会などで聞いた	7. 府県や市町村の広報誌などで読んだ	8. テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った	9. インターネットのサイトなどで知った	10. 近くに同和地区があつた	11. 自分の身近で同和問題に関する差別があつた	12. その他	13. 覚えていない	14. 同和問題については知らない	不明・無回答	回答者数
市全体	189 26.4	37 5.2	39 5.4	225 31.4	44 6.1	23 3.2	22 3.1	97 13.5	4 0.6	54 7.5	16 2.2	12 1.7	30 4.2	43 6.0	34 4.7	716 100.0
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	23 21.3	13 12.0	5 4.6	10 9.3	13 12.0	1 0.9	4 3.7	24 22.2	0 0.0	9 8.3	2 1.9	2 0.9	1 0.9	5 4.6	8 7.4	108 100.0
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	82 29.7	18 6.5	18 6.5	73 26.4	18 6.5	14 5.1	9 3.3	36 13.0	2 0.7	22 8.0	10 3.6	6 2.2	15 5.4	19 6.9	10 3.6	276 100.0
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	40 26.8	1 0.7	6 4.0	69 46.3	7 4.7	4 2.7	3 2.0	17 11.4	0 0.0	11 7.4	3 2.0	2 1.3	5 3.4	5 3.4	6 4.0	149 100.0
4. 大学、大学院	34 23.4	1 0.7	7 4.8	71 49.0	3 2.1	3 2.1	4 2.8	14 9.7	4 1.4	14 5.5	2 0.7	8 2.9	0 0.0	1 0.7	3 2.1	145 100.0
5. その他	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	9 25.7	4 11.4	3 8.6	2 5.7	3 8.6	1 2.9	2 5.7	5 14.3	0 0.0	3 8.6	1 2.9	2 5.7	2 5.7	0 0.0	5 14.3	35 100.0

5-2-2. 社会が同和地区出身者を判断する基準だと思う要素

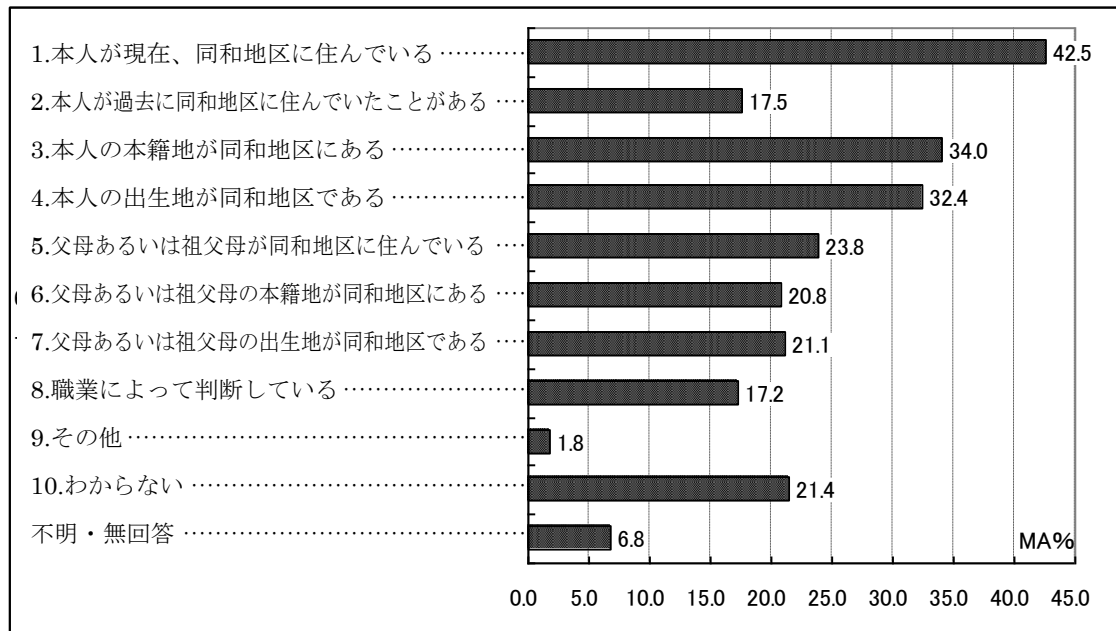
問 16 一般的に、世間ではどのようなことで同和地区出身者と判断していると思いますか。(〇はいくつでも)

【表 5-2-2-1 社会が同和地区出身者を判断する基準だと思う要素】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 本人が現在、同和地区に住んでいる	2. 本人が過去に同和地区に住んでいたことがある	3. 本人の本籍地が同和地区にある	4. 本人の出生地が同和地区である	5. 父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる	6. 父母あるいは祖父母の本籍地が同和地区にある	7. 父母あるいは祖父母の出生地が同和地区である	8. 職業によって判断している	9. その他	10. わからない	無回答・不明	該当者数
市全体	286 42.5	118 17.5	229 34.0	218 32.4	160 23.8	140 20.8	142 21.1	116 17.2	12 1.8	144 21.4	46 6.8	673 100.0

【図 5-2-2 社会が同和地区出身者を判断する基準だと思う要素】



一般的に、世間ではどのようなことで同和地区出身者と判断していると思うかについて尋ねたところ、「1.本人が現在、同和地区に住んでいる」と答えた人の割合が42.5%と最も高く、次いで「3.本人の本籍地が同和地区にある」が34.0%、「4.本人の出生地が同和地区である」が32.4%となっている。

性別でみると、男性では「1.本人が現在、同和地区に住んでいる」が48.8%と最も高く、次いで「4.本人の出生地が同和地区である」が39.9%、「3.本人の本籍地が同和地区にある」が39.2%となっている。

女性では「1.本人が現在、同和地区に住んでいる」が38.1%と最も高く、次いで「3.本人の本籍地が同和地区にある」が30.8%、「4.本人の出生地が同和地区である」が26.7%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代、70歳以上では「1.本人が現在、同和地区に住んでいる」であり、数値は各々46.9%、46.5%、47.5%、43.1%、35.7%となっており、50歳代では、「1.本人が現在、同和地区に住んでいる」と「3.本人の本籍地が同和地区にある」で、ともに39.2%となっている。

【表5-2-2-2】

【表5-2-2-2 性別・年齢別 社会が同和地区出身者を判断する基準だと思う要素】

(上段:人、下段:%)

		1. 同和地区に現在住んでいる	2. 同和地区に過去に住んでいた	3. 同和地区の本籍地がある	4. 同和地区の出生地がある	5. 同和地区に在住する両親が	6. 本籍地がある同和地区に両親が	7. 出生地がある同和地区に両親が	8. 職業判断によって	9. その他	10. わからない	無回答・	該当者数
市全体		286 42.5	118 17.5	229 34.0	218 32.4	160 23.8	140 20.8	142 21.1	116 17.2	12 1.8	144 21.4	46 6.8	673 100.0
性別	男性	138 48.8	55 19.4	111 39.2	113 39.9	78 27.6	63 22.3	69 24.4	52 18.4	4 1.4	49 17.3	17 6.0	283 100.0
	女性	137 38.1	59 16.4	111 30.8	96 26.7	75 20.8	73 20.3	69 19.2	57 15.8	7 1.9	89 24.7	25 6.9	360 100.0
	不明・無回答	11 36.7	4 13.3	7 23.3	9 30.0	7 23.3	4 13.3	4 13.3	7 23.3	1 3.3	6 20.0	4 13.3	30 100.0
年齢別	20歳代	30 46.9	12 18.8	29 45.3	19 29.7	10 15.6	13 20.3	14 21.9	7 10.9	0 0.0	14 21.9	2 3.1	64 100.0
	30歳代	59 46.5	32 25.2	46 36.2	52 40.9	34 26.8	27 21.3	34 26.8	17 13.4	0 0.0	21 16.5	5 3.9	127 100.0
	40歳代	47 47.5	20 20.2	41 41.4	40 40.4	26 26.3	27 27.3	27 27.3	16 16.2	2 2.0	21 21.2	2 2.0	99 100.0
	50歳代	38 39.2	17 17.5	38 39.2	33 34.0	25 25.8	25 25.8	24 24.7	13 13.4	3 3.1	22 22.7	4 4.1	97 100.0
	60歳代	56 43.1	17 13.1	38 29.2	37 28.5	36 27.7	26 20.0	22 16.9	32 24.6	3 2.3	28 21.5	13 10.0	130 100.0
	70歳以上	45 35.7	16 12.7	30 23.8	28 22.2	22 17.5	18 14.3	17 13.5	24 19.0	3 2.4	32 25.4	16 12.7	126 100.0
	不明・無回答	11 36.7	4 13.3	7 23.3	9 30.0	7 23.3	4 13.3	4 13.3	7 23.3	1 3.3	6 20.0	4 13.3	30 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「公務員、教員」「民間正規雇用」「家事専業・学生・無職」では「1.本人が現在、同和地区に住んでいる」であり、数値は各々43.2%、60.0%、47.8%、39.7%となっており、「非正規雇用」では「3.本人の本籍地が同和地区にある」で39.4%となっている。【表5-2-2-3】

【表5-2-2-3 職業別 社会が同和地区出身者を判断する基準だと思う要素】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 同和地区に現在住んでいる	2. 同和地区に過去に住んでいた	3. 同和地区の本籍地がある	4. 同和地区の出生地である	5. 同和地区に祖父母が住んでいる	6. 本籍地があるいは祖父母の出生地である	7. 出生地が同和地区である	8. 職業判断によって	9. その他	10. わからない	無回答・不明	該当者数
市全体	286 42.5	118 17.5	229 34.0	218 32.4	160 23.8	140 20.8	142 21.1	116 17.2	12 1.8	144 21.4	46 6.8	673 100.0
自営業	38 43.2	14 15.9	29 33.0	23 26.1	23 26.1	19 21.6	17 19.3	19 21.6	2 2.3	14 15.9	5 5.7	88 100.0
公務員、教員	9 60.0	4 26.7	9 60.0	7 46.7	6 40.0	5 33.3	4 26.7	1 6.7	0 0.0	3 20.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	89 47.8	41 22.0	71 38.2	74 39.8	48 25.8	41 22.0	49 26.3	31 16.7	3 1.6	32 17.2	9 4.8	186 100.0
非正規雇用	35 37.2	18 19.1	37 39.4	34 36.2	24 25.5	24 25.5	24 25.5	16 17.0	1 1.1	24 25.5	5 5.3	94 100.0
家事専業・学生・無職	102 39.7	36 14.0	75 29.2	70 27.2	51 19.8	46 17.9	43 16.7	42 16.3	5 1.9	66 25.7	21 8.2	257 100.0
不明・無回答	13 39.4	5 15.2	8 24.2	10 30.3	8 24.2	5 15.2	5 15.2	7 21.2	1 3.0	5 15.2	6 18.2	33 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「1.本人が現在、同和地区に住んでいる」であり、「中学卒」が34.4%、「高校卒」が43.2%、「短大卒」が39.6%、「大学卒」が51.1%となっている。【表5-2-2-4】

【表5-2-2-4 学歴別 社会が同和地区出身者を判断する基準だと思う要素】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 同和地区に現在住んでいる	2. 同和地区に過去に住んでいた	3. 同和地区の本籍地がある	4. 同和地区の出生地である	5. 同和地区に祖父母が住んでいる	6. 本籍地があるいは祖父母の出生地である	7. 出生地が同和地区である	8. 職業判断によって	9. その他	10. わからない	無回答・不明	該当者数
市全体	286 42.5	118 17.5	229 34.0	218 32.4	160 23.8	140 20.8	142 21.1	116 17.2	12 1.8	144 21.4	46 6.8	673 100.0
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	32 34.4	11 11.8	19 20.4	20 21.5	18 19.4	10 10.8	11 11.8	10 10.8	2 2.2	28 30.1	13 14.0	93 100.0
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	111 43.2	42 16.3	84 32.7	88 34.2	56 21.8	57 22.2	55 21.4	48 18.7	4 1.6	54 21.0	15 5.8	257 100.0
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	57 39.6	26 18.1	51 35.4	37 25.7	34 23.6	32 22.2	33 22.9	25 17.4	1 0.7	37 25.7	6 4.2	144 100.0
4. 大学、大学院	72 51.1	33 23.4	66 46.8	62 44.0	44 31.2	36 25.5	38 27.0	24 17.0	4 2.8	20 14.2	6 4.3	141 100.0
5. その他	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	12 34.3	6 17.1	8 22.9	10 28.6	8 22.9	4 11.4	4 11.4	8 22.9	1 2.9	5 14.3	6 17.1	35 100.0

5-2-3. 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いたことのある経験

(1) 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いたことのある経験

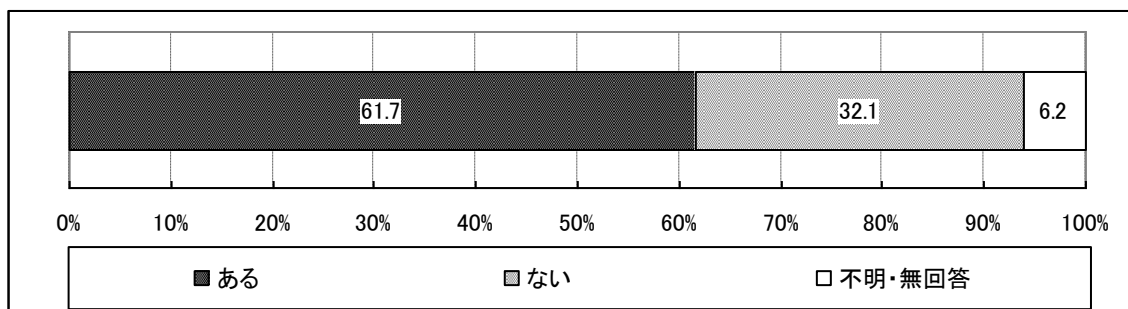
問 22 あなたは、「同和地区の人はこわい」とか、あるいは「同和対策は不公平だ」というような話を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

【表 5-2-3-1 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いたことのある経験】

(上段:人、下段:%)

	あ る	な い	無不 回明 答・	合該 計当 者
市全体	415 61.7	216 32.1	42 6.2	673 100.0

【図 5-2-3-1 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いたことのある経験】



「同和地区の人はこわい」とか、あるいは「同和対策は不公平だ」というような話を聞いたことがあるかについて尋ねたところ、「ある」と答えた人の割合は 61.7%、「ない」と答えた人の割合は 32.1%となっている。

性別でみると、「ある」と答えた人の割合は、男性 67.1%、女性 56.4%となっている。

年齢別でみると、「ある」と答えた人の割合は、40 歳代が 69.7%で最も高く、次いで 60 歳代が 66.2%、50 歳代が 63.9%となっている。

【表 5-2-3-2】

【表5-2-3-2 性別・年齢別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いたことのある経験】

(上段:人、下段:%)

		ある	ない	無不明 回答・	合該 計当 者
市全体		415 61.7	216 32.1	42 6.2	673 100.0
性別	男性	190 67.1	71 25.1	22 7.8	283 100.0
	女性	203 56.4	138 38.3	19 5.3	360 100.0
	不明・無回答	22 73.3	7 23.3	1 3.3	30 100.0
年齢別	20歳代	30 46.9	32 50.0	2 3.1	64 100.0
	30歳代	67 52.8	56 44.1	4 3.1	127 100.0
	40歳代	69 69.7	29 29.3	1 1.0	99 100.0
	50歳代	62 63.9	27 27.8	8 8.2	97 100.0
	60歳代	86 66.2	34 26.2	10 7.7	130 100.0
	70歳以上	79 62.7	31 24.6	16 12.7	126 100.0
	不明・無回答	22 73.3	7 23.3	1 3.3	30 100.0

職業別でみると、「ある」と答えた人の割合は、「自営業」が68.2%で最も高く、次いで「公務員、教員」が66.7%となっている。【表5-2-3-3】

【表5-2-3-3 職業別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いたことのある経験】

(上段:人、下段:%)

	ある	ない	無不明 回答・	合該 計当 者
市全体	415 61.7	216 32.1	42 6.2	673 100.0
自営業	60 68.2	19 21.6	9 10.2	88 100.0
公務員、教員	10 66.7	5 33.3	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	123 66.1	57 30.6	6 3.2	186 100.0
非正規雇用	47 50.0	41 43.6	6 6.4	94 100.0
家事専業・ 学生・無職	150 58.4	87 33.9	20 7.8	257 100.0
不明・無回答	25 75.8	7 21.2	1 3.0	33 100.0

学歴別でみると、「ある」と答えた人の割合は、「大学卒」が67.4%で最も高く、次いで「中学卒」が63.4%となっている。【表5-2-3-4】

【表5-2-3-4 学歴別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いたことのある経験】

(上段:人、下段:%)

	あ る	な い	無 不 回 明 答 ・	合 該 計 当 者
市全体	415 61.7	216 32.1	42 6.2	673 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	59 63.4	22 23.7	12 12.9	93 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	143 55.6	101 39.3	13 5.1	257 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	90 62.5	46 31.9	8 5.6	144 100.0
4.大学、大学院	95 67.4	39 27.7	7 5.0	141 100.0
5.その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	25 71.4	8 22.9	2 5.7	35 100.0

(2) 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた相手

(問22で「同和地区の人はこわい」とか、あるいは「同和対策は不公平だ」というような話を聞いたことがあると答えた人に)

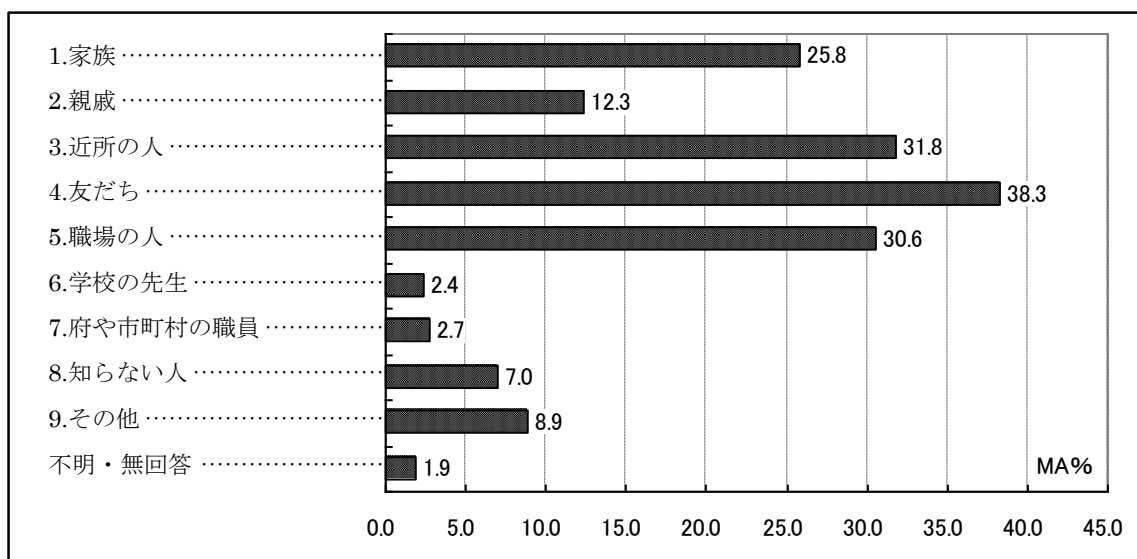
問22-1 それは誰からですか。(〇はいくつでも)

【表5-2-3-5 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた相手】

(上段:人、下段:MA%)

	1.家 族	2.親 戚	3.近 所 の 人	4.友 だ ち	5.職 場 の 人	6.学 校 の 先 生	7.の 府 や 市 町 村 の 職 員	8.知 ら な い 人	9.そ の 他	無 不 回 明 答 ・	該 当 者 数
市全体	107 25.8	51 12.3	132 31.8	159 38.3	127 30.6	10 2.4	11 2.7	29 7.0	37 8.9	8 1.9	415 100.0

【図5-2-3-2 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた相手】



問 22 で「同和地区の人はこわい」とか、あるいは「同和対策は不公平だ」というような話を聞いたことが「ある」と回答した人に対して、誰から聞いたかを尋ねたところ、「4.友だち」と答えた人の割合が 38.3%と最も高く、次いで「3.近所の人」が 31.8%、「5.職場の人」が 30.6%となっている。

性別でみると、男性では「4.友だち」が 38.4%と最も高く、次いで「5.職場の人」が 33.2%、「3.近所の人」が 27.4%となっている。

女性では「4.友だち」が 37.9%と最も高く、次いで「3.近所の人」が 36.9%、「1.家族」が 30.5%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、20 歳代では「1.家族」で 43.3%、40 歳代、50 歳代では「4.友だち」であり、数値は各々 42.0%、40.3%となっており、60 歳代では「5.職場の人」で 41.9%、70 歳以上では「3.近所の人」で 51.9%となっている。また、30 歳代では「1.家族」と「4.友だち」で、ともに 40.3%となっている。

【表 5-2-3-6】

【表 5-2-3-6 性別・年齢別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた相手】

(上段:人、下段:%)

		1. 家族	2. 親戚	3. 近所の人	4. 友だち	5. 職場の人	6. 学校の先生	7. 府や市の職員	8. 知らない人	9. その他	無不明回答・	該当者数
市全体		107 25.8	51 12.3	132 31.8	159 38.3	127 30.6	10 2.4	11 2.7	29 7.0	37 8.9	8 1.9	415 100.0
性別	男性	41 21.6	20 10.5	52 27.4	73 38.4	63 33.2	7 3.7	8 4.2	17 8.9	22 11.6	2 1.1	190 100.0
	女性	62 30.5	30 14.8	75 36.9	77 37.9	57 28.1	3 1.5	3 1.5	12 5.9	15 7.4	4 2.0	203 100.0
	不明・無回答	4 18.2	1 4.5	5 22.7	9 40.9	7 31.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1	22 100.0
年齢別	20歳代	13 43.3	3 10.0	8 26.7	12 40.0	8 26.7	2 6.7	0 0.0	4 13.3	2 6.7	1 3.3	30 100.0
	30歳代	27 40.3	9 13.4	14 20.9	27 40.3	13 19.4	4 6.0	2 3.0	6 9.0	5 7.5	1 1.5	67 100.0
	40歳代	23 33.3	15 21.7	18 26.1	29 42.0	26 37.7	0 0.0	2 2.9	2 2.9	8 11.6	1 1.4	69 100.0
	50歳代	9 14.5	8 12.9	21 33.9	25 40.3	17 27.4	1 1.6	2 3.2	5 8.1	9 14.5	1 1.6	62 100.0
	60歳代	23 26.7	13 15.1	25 29.1	25 29.1	36 41.9	2 2.3	0 0.0	6 7.0	7 8.1	1 1.2	86 100.0
	70歳以上	8 10.1	2 2.5	41 51.9	32 40.5	20 25.3	1 1.3	5 6.3	6 7.6	6 7.6	1 1.3	79 100.0
	不明・無回答	4 18.2	1 4.5	5 22.7	9 40.9	7 31.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1	22 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「公務員、教員」「民間正規雇用」では「4.友だち」であり、数値は各々 48.3%、30.0%、36.6%となっており、「非正規雇用」「家事専業・学生・無職」では「3.近所の人」であり、各々 40.4%、42.0%となっている。また「公務員、教員」では、「1.家族」「4.友だち」「5.職場の人」で、いずれも 30.0%となっている。

【表 5-2-3-7】

【表5-2-3-7 職業別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた相手】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 家族	2. 親戚	3. 近所の人	4. 友だち	5. 職場の人	6. 学校の先生	7. の府や市町村職員	8. 知らない人	9. その他	無不明回答・	該当者数
市全体	107 25.8	51 12.3	132 31.8	159 38.3	127 30.6	10 2.4	11 2.7	29 7.0	37 8.9	8 1.9	415 100.0
自営業	16 26.7	7 11.7	17 28.3	29 48.3	23 38.3	2 3.3	1 1.7	6 10.0	4 6.7	0 0.0	60 100.0
公務員、教員	3 30.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	3 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	10 100.0
民間正規雇用	32 26.0	14 11.4	27 22.0	45 36.6	43 35.0	3 2.4	1 0.8	10 8.1	16 13.0	2 1.6	123 100.0
非正規雇用	13 27.7	7 14.9	19 40.4	17 36.2	11 23.4	0 0.0	1 2.1	4 8.5	4 8.5	0 0.0	47 100.0
家事専業・学生・無職	38 25.3	20 13.3	63 42.0	56 37.3	41 27.3	5 3.3	6 4.0	8 5.3	11 7.3	2 1.3	150 100.0
不明・無回答	5 20.0	1 4.0	4 16.0	9 36.0	6 24.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0	4 16.0	25 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「3.近所の人」で35.6%、「高校卒」「短大卒」では「4.友だち」であり、数値は各々47.6%、38.9%、「大学卒」では「1.家族」で31.6%となっている。【表5-2-3-8】

【表5-2-3-8 学歴別 「同和地区の人はこわい」等という話を聞いた相手】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 家族	2. 親戚	3. 近所の人	4. 友だち	5. 職場の人	6. 学校の先生	7. の府や市町村職員	8. 知らない人	9. その他	無不明回答・	該当者数
市全体	107 25.8	51 12.3	132 31.8	159 38.3	127 30.6	10 2.4	11 2.7	29 7.0	37 8.9	8 1.9	415 100.0
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	11 18.6	6 10.2	21 35.6	19 32.2	20 33.9	1 1.7	2 3.4	6 10.2	4 6.8	0 0.0	59 100.0
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	33 23.1	15 10.5	59 41.3	68 47.6	47 32.9	2 1.4	2 1.4	9 6.3	9 6.3	1 0.7	143 100.0
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	28 31.1	15 16.7	25 27.8	35 38.9	24 26.7	3 3.3	1 1.1	4 4.4	11 12.2	0 0.0	90 100.0
4. 大学、大学院	30 31.6	14 14.7	21 22.1	27 28.4	29 30.5	4 4.2	6 6.3	10 10.5	12 12.6	3 3.2	95 100.0
5. その他	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	4 16.0	1 4.0	5 20.0	10 40.0	6 24.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 16.0	25 100.0